

JR 烏山線開業 100 年記念市民啓発事業

1 課題となる背景と現状

- ◇JR 烏山線は、令和 5 年 4 月に開業から 100 年の記念すべき節目を迎えます。
- ◇地域の発展を考えた当時の先覚者たちは鉄道開通にエネルギーを集約し、30 年にも及ぶ根気強い運動を展開しました。その結果、大正 12 年 4 月 15 日に JR 烏山線は開業します。
- ◇しかしながら、人口減少や自動車の普及、新型コロナウイルス感染症といった様々な要因で公共交通離れが進んでおり、JR 烏山線をはじめ地方鉄道を取り巻く状況は厳しさを増しています。
- ◇令和 4 年 7 月、JR 東日本は近年の新型コロナウイルス感染症流行等による経営状況の厳しきや地方交通路線を取り巻く問題を踏まえ、1 日の平均通過人員（1 日 1 kmあたりの平均輸送量）が 2,000 人未満の、利用者の少ない地方路線の経営状況を公表し、栃木県内では唯一烏山線が該当しました。
- ◇平均通過人員が 1,000 人未満等の路線については、存続策やバス運行への転換などが検討されることとなっており、烏山線の存続のためには、今後の利用向上が必要です。

2 必要とされる取り組み・期待される展望

- ◇令和 5 年に JR 烏山線開業 100 年記念すべき節目を契機として、市民の烏山線愛の醸成と JR 烏山線が地域にとって重要な公共交通であることを再認識してもらうことを目的とする。
- ◇その結果、烏山線の利用者数向上につながり、市民にとってより便利な交通機関となること、関係人口の増加など那須烏山市の活性化につながることを期待する。

【例】

- JR 烏山線利用向上を目的とした「駅前活性化事業」
沿線各駅前等で定期的なイベントを開催するほか、JR 烏山線の PR を展開する。
- JR 烏山線愛の醸成を目的とした「沿線美化活動」
沿線美化活動を実施し、市民の烏山線愛の醸成を図るほか、烏山線の重要さを地域に PR する。

3 事業実施におけるポイント

- ◎市民や民間団体が主体として、存在の目立つ取り組みとなること。
⇒市民の共感と、市民間での活動の広がりにつなげるため、行政主導ではない活動をお願いします。
- ◎JR の許可が必要な内容のみの事業展開は避けること。
⇒JR との調整に時間がかかること、許可が得られない場合もあること、料金が発生することを想定して事業内容を検討してください。
- ◎鉄道運行や駅前の交通に危険が生じることがないように注意すること。
⇒駅周辺の活動にあたっては、鉄道運行をはじめ周辺的环境に迷惑をならないよう注意してください。

【問合せ先】
まちづくり課地域づくりグループ
☎0287-83-1151